

授業科目(ナンバリング)	介護概論ⅡA(介) (DA218)			担当教員	久田 貴幸		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・前期	必修・選択	選択 (介護必修)
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と制度を養う学習とする。</p> <p>介護サービスについても理解を深め、介護における安全や介護の専門性とチームケアのあり方を理解し、安心できる介護や生活の実現を目指すための学習を行う。生活する人として、利用者の生活観や生活習慣など、利用者の個別性を大切に、尊厳の保持や自立支援の介護について理解を深めることがねらいである。</p> <p>また、本科目を学んでいく中で、生活課題を抱える全ての人の人権と自己決定、及び地域社会における福祉の問題について考えていけるようになることも併せてねらいとしたい。</p>							④⑤⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養う。				随時試験 (レポート) 単元別小テスト 課題レポート	60% 5% 5%	
情報収集、分析力	尊厳を支える介護が理解でき、要支援・要介護者に必要な介護サービスの種類や利用要件、利用するための手順(提供までの過程)を考え、判断することができる。				単元別小テスト	5%	
コミュニケーション力	本人、家族等との関係性の構築やチームケアを実践するための、コミュニケーションの基礎的な知識・技術を習得する。				授業におけるリフレクション	5%	
協働・課題解決力	グループで課題に取り組む際、自分の立場で何が必要かを考え説明することができる。				授業におけるリフレクション	5%	
多様性理解力	各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を養うことができる。				課題レポート 単元別小テスト リフレクション	5% 5% 5%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> 随時試験の成績を60%としレポートを提出させる。 単元別小テストは5回目・8回目・12回目に実施する。 課題レポートについては、授業内での代表的なデータをレポート化し、提出後フィードバックにて学生と共有する。 授業におけるリフレクション(リフレクション)は自分の意見をまとめ、表出できているかの評価を行う。 レポート等へのフィードバックは、manabaやE-mailを用いて行う。 							
授業の概要							
<p>「介護概論ⅠAB」を踏まえ、人や生活の多様性について理解を深め、事例にもとづくグループワークによる議論を行う。グループワークの結果は、プレゼンテーション等の方法を用いて、高齢者や障害のある人の理解やその生活について考えたことを他者に伝える能力を身に付ける。また、介護サービスの概要については、介護保険制度を中心に学んでいく。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：最新・介護福祉士養成講座4 『介護の基本Ⅱ』 中央法規 発行者：荘村明彦 参考書：『国民の福祉と介護の動向』 厚生統計協会 (近年の統計動向の確認時、本書を活用する) 指定図書：介護福祉士国家試験 受験ワークブック2019上 中央法規</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>本授業は、要介護者について学ぶものですが、まず介護を必要としていなかった頃の利用者の状況や状態を考慮するようにしてください。そして、在宅で行う介護と施設で行う介護の違いや共通視点について常に考えてください。利用者への適切なサービスを提供するためには、多くの知識を得ることが大切です。高齢者や障害のある人をめぐる諸問題についての学習として、図書館等の利用や新聞・雑誌の購読を自主的に行うことを期待する。</p>							
回	テーマ	授業の内容				予習・復習	

1	尊厳の保持や自立支援	尊厳の保持や自立支援など、介護福祉士としての基本的な考え方や姿勢について考える。	予習：シラバスを読み、理解する 復習：介護福祉士の基本的な考え方を理解する
2	介護を必要とする人の理解①	高齢者の生活史から、生活観、生活習慣や生活様式等について学び、高齢者の暮らしの実際について考える。	予習：自分自身の暮らしをまとめておく 復習：本テーマを整理する
3	介護を必要とする人の理解②	高齢者の健康、生活リズム、生活文化、家族・世帯構成や役割について学び、健康な時と介護が必要になった時の生活について学ぶ。	予習・復習：生活の違いを理解し整理する
4	介護を必要とする人の理解③	高齢者の住まいと環境について学び、就労や生計等について考える。また、社会活動や余暇活動についても学び、介護が必要な高齢者の社会参加について考えていく。 https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2019/zenbun/01pdf_index.html	予習：本授業内容の教科書を読んでおく。復習：社会参加について整理する
5	2回目～4回目の内容の小テスト 介護を必要とする人の理解④	30分程度の解説も含めた小テストを行う。 障害のある人の生活ニーズについて学び、その生活について理解する。	予習：生活ニーズを整理する。復習：本テーマをまとめる。
6	介護を必要とする人の理解⑤	障害のある人の生活を支える基盤である各種年金制度や生活保護、介護保険等について学ぶ。同時に、今後に向け検討されている制度等についても学ぶ。	予習：各種年金制度について調べておく。 復習：本テーマをまとめる。
7	介護を必要とする人の理解⑥	障害のある人の生活を支えるサービスの現状や生活環境について学ぶ。また、その課題についても考えていく。	予習：課題を見出し検討する。復習：本テーマをまとめる。
8	5回目～7回目の内容の小テスト 介護を必要とする人の理解⑦	30分程度の解説も含めた小テストを行う。 高齢者や障害のある人の生きる意欲を引き出す余暇活動やレクリエーションについて学ぶとともに、高齢者や障害のある人が、自分の能力を活かして生活するためには、何が必要か考えていく。	予習・復習：レクリエーションの意義について整理
9	介護を必要とする人の理解⑧	介護を必要とする人の生活を支える生活環境についての考え方を学び、理解を深める。また、家族、地域や社会との関係について学び、その課題についても考えていく。	予習：本授業内容の教科書を読んでおく。 復習：本テーマをまとめる。
10	介護サービス①	介護のサービスの種類、介護サービスの概要について理解する。また、介護保険におけるサービスの種類やその概要について学ぶ。	予習・復習：介護のサービスについて整理する
11	介護サービス②	介護保険制度について、在宅の高齢者の事例を通して介護申請から、介護認定、サービス提供について理解する。	予習・復習：介護保険制度の流れを整理する
12	介護サービス①・②の小テスト 介護サービス③	30分程度の解説も含めた小テストを行う。 ケアマネジメントについてその流れや仕組みを学び、利用者に必要な介護サービスの提供について理解する。	予習・復習：ケアマネジメントについて整理する
13	介護サービス④	介護保険制度におけるケアマネジメントについて学ぶ。生活ニーズを把握するための情報収集やアセスメントの手法について学ぶ。	予習・復習：生活ニーズについて整理する
14	介護サービス⑤	生活ニーズの把握やそれに合わせたサービスの調整について学び、ケアプランを作成するまでを学ぶ。	予習・復習：ケアプランの流れを整理する
15	介護サービス⑥ まとめ	ケアプランについて学ぶとともに、ケアプランにもとづく介護計画について理解する。 本科目で学んだことの振り返りを行う。	予習・復習：介護計画について整理する
16	定期試験		